

令和7年度

一般参加可能！
事前申込不要
入場無料

行方市 青少年表彰式

輝く未来展表彰式(絵画の部・書の部)・読書感想文コンクール表彰式・
青少年健全育成大会表彰式(善行賞・青少年の主張作文・家庭の日ポスター)・
作文発表・記念講演

令和8年

2月8日 日

9:00～12:20(開場8:15)

会場

行方市文化会館
(行方市山田2175)



記念講演

「赤ちゃんと働いてわかったこと～自分たちで未来をつくる～」

みつはた ゆか
光畑 由佳氏(モーハウス代表)

倉敷出身。お茶の水女子大学を卒業後、パルコでの美術企画、編集者を経て、1997年、電車の中での授乳体験を機に、「ウェアラブルな授乳環境」として授乳服の製作を開始。「いいお産の日」の開催や自宅サロン等も通し、子育てをサポートする「モーハウス」の活動により、子育て中の女性が社会とつながるための活動を行ってきた。乳児を抱っこして授乳しながら働く「子連れ出勤」を青山の路面店や百貨店で展開。のべ300人が実践してきた。現在は自治体等でも行われている。これらの活動は、商工会女性起業家大賞、内閣府女性のチャレンジ賞、お茶の水女子大学賞など受賞。APEC女性と経済フォーラムでも2度のスピーカーを務めた。

現在はお茶の水女子大学ジェンダー専攻博士課程で子連れ出勤の社会的意義に関する研究を行っている。リーダーシップ111代表(2024年～)、女性社会起業家のためのプログラムJWLI BootcampをボストンFish

Family財団と共催(2024年)など、女性のリーダーシップ、起業支援に関する活動も行っている。過去に、茨城大学社会連携センター特命教授、経済産業省中小企業経営審議会委員、内閣府男女局生活の質向上検討会委員、茨城県少子化対策審議員、こども家庭庁写真コンクール審査員など。茨城県ユニセフ協会理事、茨城コープ理事ほか。2023年、建築家とつくば市に建てた自宅(1994年竣工soft and hairy house)を、地域に開かれたフェムテックカフェとしてオープンした。

NPO法人子連れスタイル推進協会代表理事
千葉大講師/筑波大学大学院・東京家政大学非常勤講師
著書「働くママが日本を救う!-子連れ出勤という就業スタイル」など。
趣味は、建築・おっぱい・世界の薬屋と病院巡り



※満席の際は入場を制限する場合がございます。

共催

行方市教育委員会
青少年育成行方市民会議

問い合わせ先

行方市教育委員会 生涯学習課
Tel.0291-35-2111/Fax.0291-35-1785